

# NHK 大学ロボコン2005 ～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～

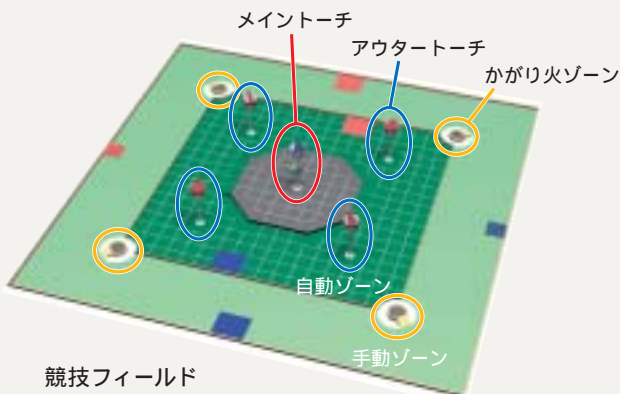
## 万里の長城を照らせ!

Climb on the Great Wall, Light the holy fire!

### 優勝 東京大学 (Robo Tech)



### 準優勝 愛知工科大学 (ドラゴヘン)



競技フィールド

オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で6月12日(日)に開催されたNHK大学ロボコン2005は、昨年到现在まで東京大学が制した。  
ふたたび日本代表として東京大学が挑むABUロボコン2005北京大会では、NHK大学ロボコン2005と基本的に同じ競技ルールが用いられる。目前に迫ったABUロボコンの予習を兼ねて、NHK大学ロボコン2005を振り返ってみることにしよう。

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁 きいだ かつひと

## メイントーチに入れた燃料ボールは1個5点!

メイントーチの中は、それぞれのチームカラーである赤と青、そして緑の3色に区分けされている。緑のかごに入れた場合は、ボールを入れたチームの得点となる。だが、赤と青のかごの中のボールは、入れたチームやボールの色に関わらず、そのかごの色のチームの得点となる。

大会ごとにルールが決められるNHKロボコンは、目の前で繰り広げられる競技の「展開がわかりにくい」とこぼす人もいようだ。そんな人は、得点が加算される条件に注目して、競技を観戦するといいい。そうすれば、各チームがどこでの得点を重視しているのが、よくわかるようになる。手動マシンと自動マシンが入り乱れる大学ロボコンでも、その混戦に感わされることなく、決定的な瞬間を目撃できるようにするはずだ。

NHK大学ロボコン2005では、得点を加

算できる条件は3つ用意されていた。その中でも、もっとも効率のよい得点条件が、フィールド中央のメイントーチにボールを入れることだった。

メイントーチのかごは、3色に区分けされていた。対戦チームの色を表す赤と青、そしてどちらのチームの色でもない緑だ。ボールを入れたチームの得点となるのは、そのチームの色のかごか、緑色のかごに入ったときだけである。どちらに入れても、ボール1個につき5点が加算される。

特に、緑色のかごに、相手チームよりも

先にボールを入れることの意義は大きい。1個につき5点ずつが加算されると同時に、相手チームの緑かごでの得点を阻むことにもなるからだ。

相手チームとの大きな得点差につながるメイントーチは、それだけに攻略が難しくなっていた。

難点の1つが、得点できるロボットの制限だ。メイントーチへの得点は自動マシンでなくてはならず、また見張り台ゾーンが上がって得点しなければならなかった。見張り台ゾーンは1段高くなっているので、